

理事長にインタビュー

理事長

かわもと きよし
河本 清司 先生

「患者様に満足頂いた時が、歯科医師になって良かったと思えます。」

世田谷区にある「青葉歯科医院」は、河本清司先生が2005年に開院された歯科クリニック。

河本先生は、長年にわたりインプラント治療の経験を積まれた歯科医師です。

また、より最適な診断と治療を患者様に提供するため、常に最新の情報をアップデートされています。

今回はそんな河本先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。

食べ物の制限がなくなり、バランスの良い食事を楽しめる。

—— まずは初めの質問です。河本先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

失った歯に代わり、第2の歯としてご自身の歯のように噛めるのがメリットだと考えております。

粘膜などに負担がかかると、硬いものを食べるのが難しくなる場合が多いです。これらの特性を踏まえると、インプラントは審美的、機能的、そしてお口全体の健康を考えた場合に、有効な治療選択肢の一つとしてご検討いただけます。



—— 「自分の歯のように噛める」とは気持ちも明るくなりますね。それでは実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

通常のインプラント治療では「思ったよりも手術時間や術後の腫れや痛みに大きな負担を感じなかった」というお声を多くいただきます。当院のAll-on-4治療によって、全顎的インプラント治療を受けた患者様の中には、審美・機能が大幅に改善し、「食事が楽しくなった」と喜ばれる方もいらっしゃいます。

インプラント治療によって、食事が楽しめるようになり、「人生が変わる」とおっしゃる方もおり、QOL（生活の質）の向上に繋がると考えます。

—— メリットが多いインプラント治療ですが、中にはインプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

骨の中に埋め込むことに対して恐怖心を持っている患者様が多いと感じられます。個人差はありますが、「インプラント治療の方が抜歯よりも痛みや腫れが少なかった」と感じる方もいます。



インプラント手術は早ければ20分程で終わり、患者様の負担は比較的少ないのでご安心ください。

また、私自身もインプラント治療をしており、術前術後の状態を経験に基づいて自信を持ってご説明いたします。

難症例にも対応できる知識と経験がクリニックの強み

—— 先生のご経験をお話くださると納得できますね！ところで河本先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

知識向上のため講習会に参加し、新しい手技、材料、器具などの知識や情報を習得するように心掛けております。

また、年1回は海外の講習会にも参加し、世界の歯科医師の技術を学ぶことで刺激を受け、日々の診療に活かしています。常にインプラントメーカーから新しい器具、機材の情報を入手し、文献を多く読み、充実した治療を提供できるよう日々アップデートを重ねております。

—— 日々の治療だけではなく、常に知識・技術向上に研鑽されているんですね。それでは治療をされる上で、患者様とコミュニケーションをどのように取っていらっしゃいますか？

歯科は怖いと感じている患者様が多いため、少しでも緊張を和らげるよう、時には世間話なども交えてスタッフ一同明るい笑顔で対応するよう心掛けております。

また、治療の内容は口腔内スキャナでご自身のお口の状態がどうなっているのかを3D画像でわかりやすくご説明し、治療の必要性をご理解いただけるようにしております。

—— 納得して治療に臨む。とても大事なことですね。それでは河本先生、ずばり！クリニックの強みはどこでしょうか？

難易度の高いインプラント症例にも対応できる知識と経験です。

1本から全顎までの治療経験を積み重ねてまいりましたので、他院で骨がないからできないと言われ諦めていた患者様にも、インプラントの可能性が提供できる医院であることです。

例えば、フラップレス、抜歯即時埋入、サイナスリフト(上顎洞挙上術)、GBR(骨誘導再生法)、即時荷重など、様々なインプラント治療に対応しております。

—— ここまでお聞きして、学会、研究会にと大変ご多忙そうなのですが、先生は休日をどのように過ごされていますか？

健康を第一に考えておりますので、パーソナルトレーニングに通い日々鍛えております。また、先生方とゴルフで歯科の情報交換をしながらリフレッシュしております。

—— それでは最後の質問です。河本先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

患者様とのコミュニケーションを大切にし、お悩みに寄り添うことを心掛けています。歯科医師として、患者様の健康的なお口づくりに貢献できる素晴らしい職業だと考えております。日々研鑽を重ね、最善の治療を提供できるよう努めています。とくに外科治療を得意とし、難しい症例にも積極的に取り組んでいます。

患者様に満足いただけた時、歯科医師になって良かったと心から思います。